

平成26年外務省行政事業レビュー「公開プロセス」とりまとめ結果

平成26年6月17日

No.	事業名	評価結果	とりまとめコメント
1	旅券関連業務	事業全体の抜本的な改善 ・ 現状通り 0名 ・ 事業内容の一部改善 3名 ・ 事業全体の抜本的な改善 3名 ・ 廃止 0名	●旅券関連業務全体について、歳入（旅券発給手数料）とコストを透明性を持って国民に示すとともに、間接経費を含めて総合的に検証し、コストの削減を行うことが必要。 ●旅券の予備冊子数について必要な検証を行い、適正な在庫管理の方法を再検討し、在庫の削減を図るべき。
2	日・インドネシア経済連携に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者に対する日本語研修事業	事業全体の抜本的な改善 ・ 現状通り 0名 ・ 事業内容の一部改善 3名 ・ 事業全体の抜本的改善 2名 ・ 廃止 1名	●看護師・介護福祉士候補者に対する一連の研修（訪日前・訪日後・受け入れ施設での研修）が全体として効率的に実施され、合格率が上がるよう、政府内で連携した体制を作るべき。 ●日本語研修の効果が上がるよう、研修先・候補者の選定、効果を計る指標の設定、不合格者のフォローアップ・分析を含めて、検証を行うとともに、コストの削減を図るべき。
3	独立行政法人国際協力機構運営費交付金（技術協力）	事業内容の一部改善 ・ 現状通り 0名 ・ 事業内容の一部改善 4名 ・ 事業全体の抜本的改善 2名 ・ 廃止	●NGOの育成のため、草の根技術協力の第三者評価を実施して検証を行い、その結果を踏まえて、NGO側の持続性及び他のスキームとの重複にも留意しながら、より多くのNGOが参加できるよう、制度的な改善を図るべき。 ●NGOによる国内での事業展開への支援については、国内の他の施策、これまでの事業の効果の検証を十分に行った上で、考え方を整理する必要がある。